

◆今週の外電◆

◆經濟欄◆

◆珈琲騰貴◆

◆物價表◆

◆廣告◆

國家經濟の大本たり

(晴日)

左記諸君の現住所御一報得度候

◆華府會議◆

◆珈琲防衛法案◆

◆物價表◆

◆海外興業株式會社伯國支店◆

Caixa Postal, 1082. S. Paulo

Dario Cesar de Camargo

Administrador

Fazenda Conceição Timbury

Linha Sorocabana.

Dr. Alves Lima

Rua Direita No. 7, sala 33

Sao Paulo

伯刺西爾曠
日本
第一九章 不明の川を赤道へ突破し降る（六）

一同はその救助に努め、斧を以て障害物を切斷し、ケルミット及び六七名のカマラダは裸體となり、岩を開整しカノアを繩にて縛し徐々に下降せるが、吾等亦裸體となりカノアを押進め、ケルミットは絆を曳けり。時しも豪雨來りて咫尺を辨せず、降る事十分許りにして又々急流に會せり。偵察者歸り來りて曰く、「前途に一日の仕事に充分なる急流あり」と、依つて野營にかゝれるが雨に濡れたるものをおかさんとして木燃えず、船より藁を認め打てるも渦巻きあるを以て其如何になりやを知らず。翌朝一キロメートルを降り對岸に上陸し、荷物は西方より流れ来る小川にて、大佐のチエリー川と命名したる方に運べり、一行は一流のカマラダ、マカリヲの倒せる大木の一本橋を渡り茲に野營し、大佐、リラー、ケルミット、アントニオは偵察の爲め前進せり、正午頃歸り來りて曰く、「一般地勢は三月二日以來經過し來れる高地と全く異なり、今や將に低き山中に入れり、而して第一着として直前にある一キロメートル計りの峠谷の地勢は陥しく且つ凹凸不正にしてカノアを如何にすべきやは大なる疑問なりと云ふのも、ケルミットは繩につき多大の經驗を有せる事さて、カノアを流下せしむる事を主張したり、若し損害ありとするも下流にて製造補充する事を得るは勿論可能なるも、陸送不能の一事は絶対に必要な最後の食糧以外のものを持てざるを得ざるに至れり。吾人は已に出來得る限りの荷物を節減せり、而して今や骨をも切らざるべからず、六名の眠るべき只一張りの天幕を有せるのみ、ケルミットは

伯刺西爾曠原の探險

米國テラドル、ルーズベルト著
日本北島湖西子譯

第十一章

常に水中にて作業をなす結果、其の靴もなし、余は余の豫備品を用ひ、其舊靴を彼に與へ、衣服は現に着るものゝ他に、一枚の寝衣、股引、懐中薬箱と小箱あり、其内に豫備品として使用すべき信用手形等あり、ハーモンク、毛布、蚊避け等と共に一事業に納め、其他には自分携帯せる旅物ありて内に、顔蓋、籠手、藥莢等を藏せり、ケルミットは襯衣までも持て他は殆んど裸體となれり。

華府會議で米國の 日本に對する要求

◇初め出した日本攻撃へ
盛頓會議に於ける米國側の魂曉
ては屢々本紙の記載する所であ

ダ、マカリヲの倒せる大木の一一本

ケルミツト、アントニヲは偵察の
め前進せり、正午頃歸り來りて曰

る高地と全く異なり、今や將に低山中に入り、而して第一着とし

谷の地勢は峻しく且つ凸凹不正にてカノアは勿論荷物の運搬も至難

あり、その一は高さ十メートル許
にして、カノアを如何にすべきや

ツトは繩につき多大の経験を有せ
事さて、カノアを流下せしむる事

下流にて製造補充する事を得るは
論可能なるも、陸送不能の一事は

對に必要なる最後の食糧以外のも
を捨てざるを得ざるに至れり。

吾人には既に此不穏な隙の有物を
滅せり、而して今や骨をも切らざ
べからず、六名の民もござ只一長

の天幕を有せるのみ、ケルミツト

● 安田善次郎翁の死禍は
世に何を教ゆる乎

A detailed black and white illustration of a steam-powered traction engine. The machine has a large flywheel at the rear, a vertical cylinder on top, and a long beam or connecting rod extending forward. It is mounted on two large, spoked wheels. A small figure of a person is standing next to it, highlighting its massive size. The engine is labeled with the number '6293'.

注射の話 川上博士（下）

注射の薬は毒のものでありますから、體に入れれば確に害になりますけれどもたくさん入れるのではなくて、ほんの少しだけ入れるのでありますから、生命の力でたやすくこれを消してしまふ物が血液の中から出来て来ます。それ！木の枝を切つたり野菜の芽を摘み取つた時に、かつてたくさんの花が咲いて、十七さくの實がなると同じやうに、注射した毒を消す物は必要なだけよりはたくさん出来て来ます。その餘分に出来ただけが血液の中に残つて居ります。それは慢をして、豫防注射をしてもらはなければなりません。

醫學の研究をして居る人はいろいろ面白いことをいたします。それはこの毒を消す物はたいそう餘分に出来るものだといふことがわかりましたので、今度はこの不思議な作用のあるものを動物に作らせて、その出来あがつた物を人間の方へもらふ方法を考へ出しました。それは一デフナリアといふ病氣は、たいへん危險な病氣であります。そして皆さんのやうな御年頃の方がいちばんたくさん罹ります。

この病氣もやはり微菌のために起る病氣であります、その微菌の毒を馬に注射してやりますと、馬がデフナリアに罹ります、でもその毒は極めて少量注射いたしますので、馬はちよつと病氣にかゝつて、すぐ馬を治療します。そしてその血液の中にはデフナリアの微菌の毒を消してしまふ物が餘分にたくさん出来ます。そこで今度は、前よりももう少しくさんの毒を注射いたします、すると馬はまだ病氣にかゝつてすぐに治ります。そして馬の血液の中には、前よりも、もつとたくさんに毒を消す

かうしてだんくにたくさんの毒を注射いたしますと、馬の血液の中には毒を消す物が非常にたくさん出来ます。そこで醫學の研究者はその馬の血液をとつて、血清といふものをこしらへますが、この血清の中には、デフテリア黴菌の毒を消してしまふ物が、たくさんに入つて居るわけです。で、誰かデフテリアに罹つて苦しんで居るのを診断するごと、お醫者さんはすぐこの血清を注射いたします。すると病人はうそをいつたやうに治つてしまひます。

少しむづかしい! でも皆さんはおわかりになつたでせう! ！子おわかりになつた方は手をあげて下さい。頷いた。

『誰が罪?』(一)
奈 破 翁

『今電話の横に居たのはE子ぢやなかつたかい』
伯爵街の出外で町の夜を歩るこ
ふとKとHと連れ立つてシダーデの方へ行きました。私はこんな間を一番にHにかけた。先越されたと言ふ風にそれでも直ぐ手柄顔にHに頷いた。

『噂の女、こんな所で彼の女を見るのは不思議でもない様な氣もした。併も鳴通り、誰の眼にも否定されない混血兒を抱えてゐた、宿の隣に居た』

爺の姿が彼の女の扉に消え込む相だ。アベニーダの街路樹の下を口渉なににして夜の色の寂びやかな町の雰囲気。音や咽ふ様な香を流して行く町娘達。シマのカディラでもフィルムの移りと彼の女の贈り物が二重のフィルムの様に別々の心もちで寫つてゐた。その姿にも餘り心を引かれず、只数多からぬ彼の女の贈り物を真綿を繰る様に記憶しながら、それが出来ない迄と追窮する様な態度で胸裏の心理を讀んでやらうと言ふ様な好奇心に駆られてゐた。それをつかまえて正直な白状をさせてやらう、それが出来ない迄と追窮する。いのちの女の贈り物が二重のフィルムの様に別々の心もちで写つてゐた。無惨に枯れ果てた霜害後のカフェーは、茅たる雑草の中に此の春の雨で育まれた新芽のスイーと伸び上つて柔かい淺緑の葉を枯枝の下に撒げてゐた。鋭利なボーダ用斧を柵の木にあたせてセツセツと砥をかけてゐた色の淺黒い瘠せざすのどこか陰鬱な顔になはしい目附きのは敗しそうに夕日を受けていはしい様な怕れる様木の後に震動に疲れたらしい、いたらしく弱々した若芽が力なく併しつらでは赤いレンソの仲間がワイワイ結麗になつて茎生つて居つた、切り株の後には震動に疲れたらしい、倒された樹は戦場の殘骸の様に入り立つて、あつた京都の或る薬剤師とターカー山蕃社に二里離れた谷間の一軒家のイヤール族の頭目の娘でジャジツデねりと云ふ蕃女と妻として一夫男二女を擧げ殆ど二十年の歳月を蕃務で、領事當時大和の豪家土倉家の臺灣出張所に勤めて居た眉目秀麗な青の年社員であつたが、社用で時々角板のは熊本縣人で緒方正基と云ふ五十男姉刀を腰にぶらさげて水田を耕してゐる男にも會つて來た其の男と云ふの頭目を叔父に持つ蕃女と妻として一村の妻は、阿波の街路樹の下を口渉なににして夜の色の寂びやかな町の雰囲気。音や咽ふ様な香を流して行く町娘達。シマのカディラでもフィルムの移りと彼の女の贈り物が二重のフィルムの様に別々の心もちで写つてゐた。それをつかまえて正直な白状をさせてやらう、それが出来ない迄と追窮する。いのちの女の贈り物を真綿を繰る様に記憶しながら、それが出来ない迄と追窮する。音や咽ふ様な香を流して行く町娘達。シマのカディラでもフィルムの移りと彼の女の贈り物が二重のフィルムの様に別々の心もちで写つてゐた。無惨に枯れ果てた霜害後のカフェーは、茅たる雑草の中に此の春の雨で育まれた新芽のスイーと伸び上つて柔かい淺緑の葉を枯枝の下に撒げてゐた。鋭利なボーダ用斧を柵の木にあたせてセツセツと砥をかけてゐた色の浅黒い瘠せざすのどこか陰鬱な顔になはしい目附きのは敗しそうに夕日を受けていはしい様な怕れる様木の後に震動に疲れたらしい、いたらしく弱々した若芽が力なく併しつらでは赤いレンソの仲間がワイワイ結麗になつて茎生つて居つた、切り株の後には震動に疲れたらしい、倒された樹は戦場の残骸の様に入り立つて、あつた京都の或る薬剤師とターカー山蕃社に二里離れた谷間の一軒家のイヤール族の頭目の娘でジャジツデねりと云ふ蕃女と妻として一夫男二女を擧げ殆ど二十年の歳月を蕃務で、領事當時大和の豪家土倉家の臺灣出張所に勤めて居た眉目秀麗な青の年社員であつたが、社用で時々角板の

「エイツ！」と頗狂なかけ声して、Sに依つて切り離された、樹は未だ倒れない、イラッて、掲み合つてゐる。他の株に切り付けた彼の形相は半狂亂であつた、バタリと倒れた掲み合つた樹が彼の眼に寫つた、その次の瞬間持ち上げて刃元を見つめたその口は異様に凄く嫉妬に燃えてゐた、ニヤリとして暮れかけた、空の彼方を見つめた眼は次第に悲痛な色に變つて行つた。

◆夕暮に

時報歌壇

タカラチング 川の村人

心より疲れし足をひきすりて家路をたどる異郷の夕暮

吾を忘れ宵の名星見てあれば君がひとみに似て涼しかり

山蕃社に出入して居る内、蕃社の若娘達の誰から頗さく言寄られて其處の森蔭、此處の岩陰でも倘まし思慕の情を吹くローボの笛の音に立たれ、若し此の戀叶へて吳の嫉妬や、その他色々の事情で親や村人の怒りに觸れ、一時は二人とも殺して仕舞ふと云ふ事になり、彼も一本氣な女之情にはだされ、此の女の爲め前途の希望も何も棄て原始的生活に入つた

The image shows five separate travel agency advertisements arranged horizontally. From left to right:

- CASA ALOISE** (Alfaiataria) - Located in Rua Liberdade, 53, Telephone Central, 3844.
- 旅館 東京館** - Located in Rua Mauá, 199, São Paulo. It includes a note: エスタソソン ソロカバナ前通り (Estacionamento à frente do hotel).
- 御菓子館** - Located in Rua C. Surradas, 71, São Paulo. It includes a note: マンヂウ、やうかんせんべい、その他相變らず (Mandjū, yakunbenbei, to other snacks, still the same).
- 平安名山戸** - Located in Largo da Sé No. 3, 3º andar, São Paulo. It includes a note: 御引立を願ひます (We request your presence at the opening ceremony).
- 御旅館** - Located in Praça José Bonifácio, 51, São Paulo. It includes a note: サントス市プラザ、デ、ジョゼイボニファシオ五一 (Plaza Jose Bonifacio, number 51, Santos city).

At the top right of the image, there is a vertical column of Japanese text:

蝉の聲いとも淋しき夕暮に故郷
消息を吾は手にしね
故郷より着きし手紙の主の名と
月毎に便りせよとのわが母の仰
に我はそむかざりけり
旅にある我れはねんごろに故郷
父よりと無きぞ悲しき
温き母が情に吾知らず熱き涙
頬を傳ひぬ
母慰むるふみ書きにけり

第一、大正拾壹年度の徵集延期出
を要する人は明治參拾四年拾貳
貳日より同參拾五年拾貳月壹日
での間に生れたる人並に既に徵
延期中の人とす
第二、本年は徵兵事務に関する規
改正せられたる結果徵集延期出
けんとする年の前年拾貳月壹日
後の日付にて延期に關する願書
提出し得ることとなりたる故書
書には大正拾年拾貳月壹日以後
日付を記入すること
第三、在サンバクロ總領事館管轄
に居る人は總領事館又はリベラ
ブレート分館へ右延期に關する
留證明方を出願すべし、右受付
本年拾壹月壹日より開始す
第四、本邦への郵便は途中意外の
手を費したる結果甚だしく遅延
しこそ往々あり其が爲め迷惑を
感じ居る人も少なからざる
(本年壹月貳拾日前後當館
の在留證明は四月拾五日に至
本邦へ到着せざりしたため罰金處
を受けたる人あり)證明願は出
るだけ早く差出方利益あり、
館にては願書到着順に依り速
本邦へ發送す
第五、右證明出の際は手數料五
百レース人所在地へ送付方希望の向
料の外郵券百五拾レース)を差
すべく、手數料は成るべく價値記
記郵便(コンヴァロール)、郵便
替、若くは銀行爲替にて送付の
第六、手數料送付の節は證明願を
所に封入すること
多數の人が取締めて出願する事
は證明願と手數料を別々に送付
差支へなきも證明願發送の節は
ンガアロール番號を記したる通
書を封入し、又コンヴァロール
他にて手數料送付の節は發送方
氏名、本籍地、耕地名を詳記し
る通知書を封入すること
若し右通知書の封入を忘るゝ
は發送者へ問合せ其他の爲め本
への發送方自然遲延すること
るべし
第七、コンヴァロール取組不便の

關する告示
にありては鐵道爲替にて送金差
支へなきも當方にて現金受取の
金額の多少に拘はらず留置料と
て着驛より現金受取の日まで一
に付貳百レースの割合にて送金
の内より之を差引かるに依り
め相當の留置料を加へて送金す
ること
鐵道爲替を取組みたるときは即
之を發送すること、右發送方遲
せば其れ丈留置料も増加す
第八、右證明下付希望者にして
近住所を變じ轉居出未済の人
證明事務開始前至急届出づること
第九、下付されたる證明書を本人
ら本邦へ向け發送する場合は必
書留郵便を以てし其受取書は大
に保存し置くこと
證明願は別記の通り（必ず貳通
證明願ふことを）
右生旦不す
大正拾八年拾月
在サンバウロ
在帝國總領事館分館
在リベロンブレー
日本出發 年 月 日
伯國上陸 年 月 日
在留地 伯國州線驛耕地名
在留證明願（貳通提出の事
（これは本年拾貳月始めて證明
を差出す人に限り記載すること
私儀今般徵集延期願出ノ爲必要
之候ニ付前記肩書地ニ在留セルコ
御證明被下度此段願上候也
大正拾八年拾貳月 日
本人 氏 名印
在サンバウロ
總領事藤田敏郎殿
人は
（在リベロンブレートへ出願す
在外務書記生早尾季鷹殿
とすべし
（名置の左方には相當の餘白を
し置くべし）

日本の華府軍備縮小及び極東問題會議の使節が貴族院議長徳川家達公等に決定したるは既報の如し若し一八六七年の維新行はれず
▲大政を完全に奉還せられざりしならば今回首席使節に推舉せられたる徳川家達公は今日將軍たりしなり故に今回の家達公推舉は徳川家及び家達公自身に對する敬意の表明にして國民一般も之れを喜ばん、今回の使節の選定は適當なる妥協を示す如何なる人物を日本代表者として華府に派遣すべきやこの國家的大問題は適當に解決せられるるものと云ふべく徳川家達公が政界に於て有力なる位置を占むることは聖上陛下が屢々家達公に内閣

近信 信
國の事情に通じたるのみならず次官として技術を發揮せるを以て今回任命せられたるものにて
▲松平恒雄氏は支那及び歐洲の事情に通じ、同氏は使節として西班牙に派遣せられたることあり、林毅陸博士は國際法の權威にして高尾草庄は外務省の情報局を代表す
外務省は本日公表を發し支那政府に對し山東交渉解決未了の傳ふる處に據れば支那は日本の埠議に就き何等かの質問を試みんとするものゝ如く交渉の延引すること解決の見込あるものなほんと
◆山東交渉解決未了
外務省は本日公表を發し支那政府に對し山東交渉解決未了の傳ふる處に據れば支那は日本の埠議に就き何等かの質問を試みんとするものゝ如く交渉の延引すること解決の見込あるものなほんと
外務省會議主使徳川家達公渡米實業團長濱澤菜一氏、渡歐實業團長團琢磨氏を主賓として盛大なる送別會五日
夜行はれた、當夜慶應義塾長鎌田耕吉氏は「封建時代の將軍たる徳川十六代家達公の使節たることは日本國民が好戦國民に非ずして平和を愛する國民たることを世界に語るものである」と演説した
●兩皇子殿下も
近く御外遊
淳宮・高宗宮兩皇子殿下には親しく御外遊をこの御希望を抱かせられ既に兩陛下にも述べさせ給ひ、御兄宮なれども御決心を遊ばされたれば近く御外遊の事あるべしと

● 日本の會議費
日本の華府會議費は二百萬弗と計り、されたり日本政府當局者は會議の開催を約二ヶ月と豫想す尙ほ日本の特使は十月十五日横濱發の鹿島丸にて渡米するに決定せり

● 宮内省の更迭
牧野伸顯氏宮省内大臣就任以來宮内省の空氣の刷新を企圖しつゝある式部長官田氏共伯は依頼免官となり候。井上勝之助氏其後任となり博士倉富男三郎氏は宗秩寮總裁に任命せられた。

● 外務次官昇任
日本政府は華盛頓會議に於て増員要の場合は隨員遣外務次官を有する候。井上勝之助氏其後任となり博士倉富男三郎氏は宗秩寮總裁に昇任せしむる筈。

● 山田新司法次官
司法次官鈴木喜三郎氏檢事總長榮達はの後任として司法省民事局長山田新に司法次官となる。

● 絹織物輸出増加
△九月中旬貿易
九月中旬貿易は入超千六百二十二千圓となりたるが横濱、神戸、阪三港別と示すと横濱輸出は六百萬餘圓、絹織物は二百三萬圓増加となり。層絲製茶等の輸出も一般に増加せり。神戸入超一千五百七十八萬七千圓で花輸入千五百萬圓増加せり。大阪出港三百七十萬三千圓なり。

● 國庫債應募額
△資本金二千萬圓
國庫債券五千萬圓の募集に對し應募額六千萬圓ありたるが金融界は公債社債に稍々靠れ氣味なり。

● 東京神戸間電車
△資本金二千萬圓
東京神戸間電車設計案略決定、可を得次第直ちに工事に着手の筈。
△陸軍服役令改正
九月六日閣議に於て決定せる陸軍役令改正の重なるものは第四十四

會に於て可決せる騎兵二年服役實績を愈々本年度より實施するの件並役中懲罰に附せらるゝ時は役を取り次第にして假令恩給年限十一年以上に達しあるも恩給下賜の恩に沿せざりし規定なりしを今回は現役満期改めたるを以て將來等のものは當然恩給を受くる事とするべし

▲茶代を廢するからにはどうしに部屋を受けねばならぬ宿泊料改正したのは全くその爲めである。も角永年の懸案も漸く茲に解決免に告げた譯で東京組合のこの斷行につて漸次地方にも及ぶ事と思はれと詰り宿泊料に於て五割方値上げれた譯なり。

●第一幸徳事件首犯

既報皇室に對し不敬行爲ありとて引された所謂第二幸徳事件の首犯は高津正道なる社會主義者なる由と詰り宿泊料に於て五割方値上げれた譯なり。

●大本教事件判決

大本教不敬事件は九月廿五日京都方裁判所にて教主出口王仁三郎及び總務文學士淺野和三郎は何れも重罪五年の判決を受けた。

●第一高勝

△對三高野球試合

毎年野球界の呼物たる一高對三高野球試合は八月廿八日京都三高校で行はれたが三對二にて一高の勝となり昨年の耻を雪いだ。

（四）方山話

◇世界第一の高齢者はコンスタンノーブルのザロと呼ぶ翁さんで今取つて百四十六歳古來稀な長壽で云はれて居る。此の翁さん九十歳で道路人夫をなし百十一歳から丁度入り現に壯者を凌ぐ元氣で九十九歳になる倅か勤かないといつて小僧を喰はせる始末。今度四目で細くを貰つたがお嬢さんの齢は二十五歳で土耳其古美人の素敵やつて米國へ婚旅行と洒落るとは酷しい。演劇優として世界的名聲を派して居る川雪洲は千葉県安房郡七浦村の産が此程自分が主人役に扮した「己罪」と「櫻の力」二映畫を郷里の實がり送つて來た。そして「せめての寫真を見て私に逢つたと思つたれ」と書かれてあるので同村長ある實兄大嬉び雪洲兄孝行の評判高い。

綺麗で、迅速で、丁寧で有名な石村洋服洗濯所

電話セントラル參貳參四
Rua dos Lavradores, 226

△色は黄、紫、白の三种。△佐
若し發芽せざる場合は代價の倍
K.NAKAYA
Rua Conde de Sarzedas, 55
Telephone Central, 5819

● 成功であつた總領事催しの
天長節レセプション

去る三十日天長節祝日に際し帝國領アルチノ、アランテス氏は謙遜な

總領事藤田敏郎氏は當日午前九時から同十一時までアベニーダ・パウリスの官舎にて拜賀式を行ひ、次で午を望む旨を述べ一同と共に聖壽萬歳

後一時から館員と共にアクリマンソンを祝し、更に伯國在留日本人の繁榮公園に催された在留民の天長節祝賀會に臨み祝辭を述べられたが更に午後四時半から

▲當市第一等のトリアノン、ホール、其の間壁たる音楽は満堂馥郁に於て藤田總領事主人公となり天長節の祝盃を挙げられた、斯くて来會せる重なる賓客は洲統領及各省長官代理を始め聖市々長ビント氏、將軍子レ、前州統領アルチノ、アランテス氏、各國領事其他内外紳士淑女二百餘名であつて

▲流石の大廣間も人を以て埋められたる觀があつた、一同席定まるや藤田總領事は極めて平民的に鄭重なる挨拶述べ乾益し、チレ將軍は次で答辭述べ乾益し、最後に前州統領

● 前聖州統領が聯邦下院議員に當選

▲特に當日の主人側たる藤田總領事及館員一同は絶へず賀客の接待に意あつたが、藤田總領事は極めて平易な接見で、其の間壁たる音楽は満堂馥郁にして日伯の親善を更に一層濃厚ならしめしは慥かに一大成功たるを疑は

● ミシガン大學のアマゾン探險

▲特に當日の主人側たる藤田總領事及館員一同は絶へず賀客の接待に意あつたが、藤田總領事は極めて平易な接見で、其の間壁たる音楽は満堂馥郁にして日伯の親善を更に一層濃厚ならしめしは慥かに一大成功たるを疑は

● 白金礦の發見

▲特に當日の主人側たる藤田總領事及館員一同は絶へず賀客の接待に意あつたが、藤田總領事は極めて平易な接見で、其の間壁たる音楽は満堂馥郁にして日伯の親善を更に一層濃厚ならしめしは慥かに一大成功たるを疑は

● 陸相マ州巡視

▲特に當日の主人側たる藤田總領事及館員一同は絶へず賀客の接待に意あつたが、藤田總領事は極めて平易な接見で、其の間壁たる音楽は満堂馥郁にして日伯の親善を更に一層濃厚ならしめしは慥かに一大成功たるを疑は

● 龍江重役送別會

▲特に當日の主人側たる藤田總領事及館員一同は絶へず賀客の接待に意あつたが、藤田總領事は極めて平易な接見で、其の間壁たる音楽は満堂馥郁にして日伯の親善を更に一層濃厚ならしめしは慥かに一大成功たるを疑は

● 天長節祝賀會

▲特に當日の主人側たる藤田總領事及館員一同は絶へず賀客の接待に意あつたが、藤田總領事は極めて平易な接見で、其の間壁たる音楽は満堂馥郁にして日伯の親善を更に一層濃厚ならしめしは慥かに一大成功たるを疑は

● 盛大なりし在留民

● 天長節祝賀會

● 棉種子消毒所

● 黒石氏宅の小宴

● 理髮業者騒く

● 聖誕節祝賀會

● トリアノンの大廣間

● 賀客を以て埋めらる

● 白金礦發見せられたる旨聯邦政府に報告したり

● トリアノンの大廣間

● 黑石氏宅の小宴

● 棉種子消毒所

● 聖誕節祝賀會

● トリアノンの大廣間

● 黑石氏宅の小宴

● 棉種子消毒所

● 聖誕節祝賀會

● トリアノンの大廣間

● 黑石氏宅の小宴

● 棉種子消毒所

● 聖誕節祝賀會

● トリアノンの大廣間

● 黑石氏宅の小宴

● 棉種子消毒所

● 聖誕節祝賀會

● トリアノンの大廣間

● 黑石氏宅の小宴

● 棉種子消毒所

● 聖誕節祝賀會

● トリアノンの大廣間

大石内藏之助
おほいしらのすけ

牛井桃水

頃は、早子刻を過ぎて居た。お繁はよんぱり門前に立ち、二人の影を見送つて、やをら内へ入らうとする時、金刀毘羅詣りと見える兩人、何處からともなく現はれて、『私等は金刀毘羅詣りの者、不圖道に踏迷うて、殊の外難儀をしまする』御無心ながら一夜の宿を、何うかお頼み申します』『夫は嘸かしお困りで、あらう、平生なら易い事、宿を貸して進せませうが、今宵は生憎主の留守、外に召使の者もない女一人の處へは何も泊めてあげられませぬ』『御道理では御座りますが、此の近所には旅籠屋もなし、此の通り足は疲れても一足も踏まれませぬ』『夜明までとは申しませぬ、責めて半飽ばかりでも、少し疲れの癒る間軒の下でもお廄でもお貸しなされてしまませ、モシお情で御座ります』『ア痛、ア痛、エ、もう悪時に持病の疳瘍、ウー是はたまらぬ』と大地に伏して悶え苦しむ。『病氣であれば是非がない、幸ひ持合はせの熊の膽でも進せませう、少し痛みのくつろぐ迄、家内へ入つてお休みなさんせ』『ヤレ／＼有り難い事、お蔭さまで助かります』三十前後見える男は、四十有餘の同伴を扶けて、お繁の跡へ跟いて来る。『冷ては惡う御座んせう、爐にはま火もある筈、サア此藥を湯で服めば、大方の痛みも愈る』と懇に世話を焼くお繁。『御内儀、御心配に及ばぬ、もう痛みはすつかり直つた』と俄に變る二人の有様、さては盜賊であつたかと人を驚かせた。『早く痛みが癒つて重疊、茶でもおひませう』轟く胸を推鏡め、轟く胸を推鏡め、『是はマア何んとなるる。

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.
(THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.)
Rua da Candelaria, No. 23
Caixa Postal 380
Rio de Janeiro

ANTUNES DOS SANTOS & COMP.
AGENTES DAS COMPANHIAS
NIPPON YUSEN KAISHA - OSAKA SHOSEN KAISHA

御用の方は左記へ御照會ありたし

九月二十八日神月出

シアトル丸

大阪商船會社定期船

橫濱正

橫濱正金銀行支